

東電には原発を運転する

資質・能力はない！

柏崎刈羽原発運転差止請求訴訟
和田光弘・弁護団長が訴訟の論点を解説

集会は10月26日
「原子力の日」
再稼動に異議あり！



写真は、柏崎刈羽原子力発電所の遠景

「不安の解消や安全よりもお金を優先したということなのか。なぜ急ぐのか」。7月5日、原発の新規制基準に適合する安全対策の申請を決定したことについて説明に来た広瀬・東京電力社長に、泉田・新潟県知事は語気荒く問い詰めました。隣の県のこととは言え、柏崎刈羽原発の再稼動への第一歩となる対応について、長野県民としても無関心ではられません。

昨年4月、柏崎刈羽原発運転差止請求訴訟が原告132名（後58名追加）によって新潟地裁に提訴され、これまで5回の口頭弁論が開かれてきました。原告は、「東京電力には原発を運転する資質・能力はない」と主張し、運転の差し止めを求めています。しかし、広瀬・東電社長の説明は、「このままでは会社の採算が合わないので再稼動したい」と、企業の利益を第一に考えたものです。福島第一原発事故の原因究明や地元の人たちに対する賠償などを脇において、企業の「利益」を優先する東電に、原発を運転する資質・能力などはまったくありません。

また、新規規制基準に沿って安全対策として予定している「フィルター付ベント（粒子状の放射性物質を1000分の1に低減するらしい）」は、果たして安全対策と言えるのでしょうか。地元住民からすれば、1000分の1の放射性物質を浴びさせられることとなり、「放射性物質を閉じ込める」とする東電の安全対策とは矛盾することとなります。

東京電力の「会社の利益のためなら、住民の安全も無視する」という姿勢は、40年以上前の新潟水俣病裁判の際に主張された企業の論理であり、時代は変わっても依然その体質は変わっていません。それに対し原告弁護団は、公害裁判の闘いの歴史を受け継ぎ、「人格権（人として持っているはずの、人生のありとあらゆる発展可能性）」を掲げて裁判を闘おうとしています。

集会には、原告の弁護団長の和田光弘弁護士を招いて、柏崎刈羽原発の運転差止訴訟の意義と経過、今後の展望についてお聞きします。ぜひ多くの皆さんがご参加ください。

パレードします！

16:20 出発 長野駅前まで
飛び入り参加歓迎！

市民集会・脱原発2013 in 信州
柏崎刈羽原発訴訟の報告

と き 10月26日（土）13:30

と ころ 長野市ふれあい福祉センター
長野市大字鶴賀緑町1714-5
市役所東側 TEL026-227-3707
※駐車は長野市役所にどうぞ

講 師 和田光弘氏（弁護士）
柏崎刈羽原発運転差止請求訴訟
弁護団長

資料代 500円

主 催 市民集会「脱原発2013 in 信州」
実行委員会

連絡 080-3208-3267（宮本）
026-234-2116（県原水禁）

私たちのメッセージ

原発に頼らない未来を創ろうプロジェクト

代表 田澤洋子

長野市大字鶴賀東鶴賀1906
TEL/FAX 026-232-1560

みんなで原発と核武装をとめよう。
自分を、仲間を、未来を信じて言い続けよう

六ヶ所会議あさま
秦田温美

人口減少と家電品の効率化が進む。
だから販売量確保のために
オール電化、深夜電力で動く
電気自動車、リニア新幹線が欲しいんだね。
持続可能な社会は右肩下がりの経済から！

小諸・かなSUN・PV発電所

電話 0267-23-5723

原発廃炉のアクションプランを
早急に策定せよ!!

「みどりの会」
会長 山口長志

体にいいことしてますか
原発ひとつで水の泡
もうこれ以上 原発はやめましょう。

脱原発共同学習会

連絡 080-3208-3267(宮本) 026-234-2116(喜多)



すべては未来のいのちのために
これ以上、汚さないで
これ以上壊さないで
核のゴミ、未来につけまわさないで

松本あかつぶの会 代表 神津ゆかり
メール⇒wagonaigo@gmail.com
Facebook⇒https://www.facebook.com/matsuakatsubu

原発再稼働!? 原発輸出!? それって一体、どうなのよ?



長野ピースサイクル実行委員会
Mail: peace.cycle@gmail.com
Blog: http://blog.peace-cycle.main.jp/?cid=21930

福島第一原発の汚染水、
非常事態が次々に露呈します。
凍土壁で解決できることはありません。
「原発はやめよう!」とはっきり宣言し、
総力を挙げての対処が必要です。

JCF/日本チェルノブイリ連帯基金
電話 0263-46-4218

核と人類は共存できない

人間がコントロールできない
原子力発電はもう終わりにしよう。
事故の悔いを未来に残さないため、いま行動のとき。

長野県原水禁

長野市県町 532-3 電話 026-234-2116

つながって増やす自然エネルギー
『太陽光パネル相乗りくん』

~今こそ市民主導のエネルギーシフトを!~

NPO 法人上田市民エネルギー

上田市中心 4-3-10-201 TEL 0268-55-9668
Email info@eneshift.org HP http://eneshift.org/

……福島の子にマスクなしの外遊びを!……

福島第一原発では汚染水の垂れ流しが止まらず、除染作業後の数値目標も示せず、復興の目途は立っていません。子ども達は未だに放射能の中で生活しています。子ども被災者支援法は成立したのに予算もついていません。

こんな中で原発をインドやトルコに輸出していいのか。南信ではリニアが通過予定です。しかし、その電源は原発です。自然を破壊し人間を傷つけるリニアも原発もやめよう!

伊那谷いのちがだいじ! 連絡会

放射能に汚染された焼却灰は
安全に管理できない!
小諸市・フジコーポレーション、イーステージは
市民の自由な言論を封じる
悪質なスラップ(口封じ)訴訟をやめろ!

放射能を考える佐久地区連絡会

電話 0267-67-3595

東電・柏崎刈羽原発を廃炉に!

東電に原発の運転能力なし!
東電は福島原発の責任を取れ!

「サラバ原発・変えよう暮らし方」の会

子ども達に、
「原発に頼らない未来」を手渡したい。

柳沢ミツバチ会 (柴垣芳美)